

# 平成27年度第1回成田市生涯学習推進協議会会議概要

## 1 開催日時

平成27年10月14日（水） 午前10時～正午

## 2 開催場所

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

## 3 出席者

（委員）

井田正道会長、門馬紘一副会長、加瀬裕美子委員、梶尾百合子委員、桑村雄一委員、高安輝司委員、軸屋美恵子委員、品田等委員、菅沢くみ子委員、高田英子委員、橋内忠成委員、照元康委員、時田幸江委員、中村好男委員、野平浩明委員、正岡宗之委員、宮本真由美委員

※欠席委員 大見川美津子委員、小川和博委員、渡辺まり子委員

（事務局）

小泉市長、関川教育長、藤崎生涯学習部長、秋山生涯学習課長、大矢生涯スポーツ課長、須賀澤図書館長、谷平公民館主幹、木川生涯学習課副参事、石井生涯学習課長補佐長谷生涯スポーツ課主幹、出山生涯スポーツ課主幹、添田生涯学習課係長、若山生涯学習課係長、麻生生涯学習課係長

## 4 議事

- （1）会長・副会長の互選について
- （2）部会員の指名及び部会長の互選について
- （3）成田市生涯学習推進計画の進捗状況について
- （4）成田市生涯スポーツマスタープランの進捗状況について

## 5 会議の内容

- （1）委員の互選により、会長に井田正道委員、副会長に門馬紘一委員を選任
- （2）井田会長が部会員を指名し、部会員の互選により、生涯学習推進部会長に井田会長、生涯スポーツ推進部会長に門馬副会長を選任
- （3）・（4）成田市生涯学習推進計画の進捗状況・数値目標の見直し及び成田市生涯スポーツマスタープランの進捗状況について、計画の概要、平成26年度の主要事業及び事業実績について、生涯学習課長、公民館主幹、図書館長、生涯スポーツ課長から、それぞれ資料に基づいて説明

### 《発言要旨》

委員：小学生がボランティア活動に意欲的に参加しており、素晴らしいことである。ただ、子どもたちが事故にあった際の保険については、現状、個別に保険に加入してもらっている状況であるため、この推進計画の中で対応できないか検討していただきたい。

委員：市民意識調査 P17 「今後行ってみたい学習や文化・スポーツ活動、地域活動」において、「行ってみたいとは思わない」の割合が増えた要因は分析しているのか。これをポジティブにとらえれば、市民が現在行っている活動に満足し、新たな活動に取り組む必要性を感じていないとなるが、ネガティブにとらえれば、これらの活動に対する意欲が低下しているということになる。また、市民が生涯学習活動を行う際に、必ずしも公共施設を利用するとは限らないということも考慮しなければならない。例えば、サークル活動であれば公民館以外の場所でも活動している団体はあるし、電子書籍の普及により、図書館に本を借りに行かなくなる人も増えている。市民の選択肢が多くなっているので、どこに基準を置くのか考えなければならない。数字上減少するのはやむを得ないのではないのか。

事務局：意識調査 P17 の詳細な分析は行っていない。また、公民館・図書館を利用しない人の割合については、確実に増加していると思うが、正確に把握することは難しい。公民館については、生涯学習会館・美郷台地区会館を含めても利用者は減少している。施設を絞った理由は、市民が積極的に学習施設を利用している数値を把握するためである。国際文化会館やコミュニティセンターについては、P45 「生涯学習関連施設利用者数」に含めている。全体的に見れば、生涯学習活動を行う市民は増加しており、以前より多くの市民が生涯学習活動を行っているものと思われる。

委員：報告書 P45 公民館サークルが年々減少しているが、その理由は。

事務局：公民館は原則有料であるところを、登録サークルについては使用料を減免している。以前は利用回数に関わらず登録を受け付けていたが、昨年度に基準を見直し、年6回以上使用するサークルを登録の対象とし、それ以下のサークルは使用の度に内容を審査し、判断するよう変更したことが要因であると考えます。

委員：私もサークル活動で公民館を利用しているが、特に土日は混雑しており、使用できないことも多い。先日は赤坂にある男女共同参画センターを利用した。

事務局：今後はそういった施設も指標に含める方向で検討したい。

委員：報告書 P20 「図書館事業」のレファレンス処理件数には、学校からの分は含まれているのか。

事務局：学校分は別途となっている。

委員：意識調査 P39 「スポーツの実施頻度」について。週1回以上実施している人の割合がかなり低いように思うが、「スポーツ」の括りはどこまでになっているのか。

事務局：市としてはウォーキングやダンス等まで含めたものと考えている。引き続き推進に努めたい。

委員：P43「競技力向上国内外遠征助成事業」について。この助成は事前に申請しないと受けられないのか。

事務局：年度内であれば事後申請も受け付けている。

委員：報告書P42「運動公園等整備事業」について。中台体育館の整備に感謝する。アリーナの空調整備についてはいつ頃になりそうか。

事務局：現在検討中である。

委員：P47 数値目標Ⅲ「スポーツイベントの参加率」について。高齢者の中にも多忙な方が多く、イベントへの参加が難しい場合もある。

事務局：レクリエーションのように、多くの方が気軽に参加できるような事業を推進していきたいと考えている。先日行われたスポーツフェスティバルも内容を考慮し、参加率を上げていきたい。数値目標Ⅳの総合型スポーツクラブについても、そのような形を目指している。

委員：総合型スポーツクラブについて。先日行ったプレ事業の参加者は35名。平日の日中であったこともあり参加者は65歳以上であった。このようなスポーツクラブは県内に76クラブある。幅広い年代の方に参加してもらえるよう、時間帯や料金の設定を検討し、準備を進めていきたい。

## 6 その他

事務局から、配布の生涯学習ガイド後期（イベントスケジュール）等について説明。

## 7 傍聴

1名